

[異常時通報連絡の公表文（様式1-1）]

伊方発電所における作業員の負傷について

27. 2. 10
原子力安全対策推進監
(内線2352)

[異常の区分]

国への法律に基づく報告対象事象	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
県の公表区分	A ・ B ・ <input checked="" type="checkbox"/> C	
外部への放射能の放出・漏えい	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 [漏えい量 -]	
異常の概要	発生日時	27年1月30日16時32分
	発生場所	1号・2号・ <input checked="" type="checkbox"/> 3号・共用設備 <input checked="" type="checkbox"/> 管理区域内 ・ 管理区域外
	種類	・ 設備の故障、異常 ・ 地震、 <input checked="" type="checkbox"/> 人身事故、その他

[異常の内容]

1月30日(金)16時42分、四国電力(株)から、別紙のとおり、伊方発電所の異常に係る通報連絡がありました。その概要は、次のとおりです。

- 1 伊方3号機の原子炉建屋において、消火設備設置工事用の配管材料を手を持って運搬していた作業員1名が作業用のホースにつまづき、配管材料と床の間に右手親指付近を挟んで負傷した。
- 2 このため、1月30日(金)16時32分、社有車にて病院に搬送することとした。
- 3 作業員の汚染、被ばくはない。

[その後の状況]

1月30日(金)19時47分、四国電力(株)から、その後の状況について、次のとおり連絡がありました。

- 1 病院で診察した結果、「右母指基節骨開放骨折」であり、数日入院が必要と診断された。

[その後の状況]

2月2日(月)16時49分、四国電力(株)から、その後の状況について、次のとおり連絡がありました。

- 1 当該作業員は、2月2日(月)に退院し入社した。

(伊方発電所及び周辺の状況)

[事故発生時の状況]

原子炉の運転状況	1号機	運転中(出力%) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 停止中
	2号機	運転中(出力%) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 停止中
	3号機	運転中(出力%) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 停止中
発電所の排気筒・放水口モニタ値の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 通常値	・ 異常値
周辺環境放射線の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 通常値	・ 異常値

(参考)

1 国への法律に基づく報告対象事象

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、国（原子力規制委員会原子力規制庁等）に対し、一定レベル以上の事故・故障等を報告することが義務付けられている。

国への法律に基づく報告対象事象に該当すれば、国際原子力機関が定めた評価尺度に基づき、7から評価対象外までの9段階の評価レベルが示されるので、異常の程度を判断する目安となる。評価対象外以下のものについては、安全に関係しない事象とされている。

2 県の公表区分

区分	内 容
A	○安全協定書第11条第2項第1号から第10号までに掲げる事態 （放射能の放出、原子炉の停止、出力抑制を伴う事故・故障、国への報告対象事象 等） ○社会的影響が大きくなるおそれがあると認められる事態 （大きな地震の発生、救急車の出動要請、異常な音の発生 等） ○その他特に重要と認められる事態
B	○管理区域内の設備の異常 ○発電所の運転・管理に関する重要な計器の機能低下、指示値の有意な変化 ○原子炉施設保安規定の運転上の制限が一時的に満足されないとき ○その他重要と認められる事態
C	○区分A，B以外の事項

3 管理区域内・管理区域外

その場所に立ち入る人の被ばく管理等を適切に実施するため、一定レベル（3月間に1.3ミリシーベルト）を超える被ばくの可能性がある区域を法律で管理区域として定めている。原子炉格納容器内や核燃料、使用済燃料の貯蔵場所、放射能を含む一次冷却水の流れている系統の範囲、液体、気体、固体状の放射性廃棄物を貯蔵、処理廃棄する場所等が管理区域に該当する。

異常発生場所が管理区域の内か外かによって、異常の程度を判断する目安となる。

伊方発電所情報 (お知らせ)

発信年月日	平成 27年 1月30日(金) 16時 42分	
発信者	伊方発電所 佐藤	
当該機	号機 (定格出力)	1号機(566MW)・2号機(566MW)・ 3号機(890MW)
	発生時 状況	1. 1U出力 MWにて(通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中) 2. 3号機第13回 定期検査中
発生状況 概要	設備トラブル・ 人身事故 ・地震・その他	
	<p>1. 発生日時： 1月 30日 16時32分</p> <p>2. 場 所： 3号機 原子炉建屋1階(管理区域内).....</p> <p>3. 状 況：</p> <p style="margin-left: 2em;">伊方3号機原子炉建屋において、消火設備設置工事用の配管材料を手に持って運搬していた作業員1名が作業用のホースにつまづき、配管材料と床の間に右手親指付近を挟んで負傷しました。</p> <p style="margin-left: 2em;">このため、16時32分、社有車にて病院に搬送することとしました。</p> <p style="margin-left: 2em;">なお、作業員の汚染、被ばくはありません。</p> <p style="margin-left: 2em;">詳細は追って連絡します。</p>	
運転状況	1号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 2号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 3号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中	
備 考		

伊方発電所情報 (お知らせ、第2報)

発信年月日	平成 27年 1月30日(金) 19時 47分
発信者	伊方発電所 菊池
当該機	号機 (定格出力)
	発生時 状況
発生状況 概要	1号機(566MW)・2号機(566MW)・ 3号機(890MW)
	1. 1U出力 MWにて(通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中) 2. 3号機第13回 定期検査中
発生状況 概要	設備トラブル・ 人身事故 ・地震・その他
	1. 発生日時： 1月 30日 16時32分 2. 場 所： 3号機 原子炉建屋1階(管理区域内)..... 3. 状 況： 伊方3号機原子炉建屋において、消火設備設置工事用の配管材料を手に持って運搬していた作業員1名が作業用のホースにつまづき、配管材料と床の間に右手親指付近を挟んで負傷しました。 このため、16時32分、社有車にて病院に搬送することとしました。 なお、作業員の汚染、被ばくはありません。 <p style="text-align: center;">【第1報にてお知らせ済み】</p> その後、病院で診察した結果「右母指基節骨開放骨折」であり、数日入院が必要と診断されました。
運転状況	1号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 2号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 3号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中
備 考	

伊方発電所情報 (お知らせ、第3報)

発信年月日	平成 27年 2月 2日 (月) 16時 49分
発信者	伊方発電所 土居
当該機	号機 (定格出力)
	発生時 状況
発生状況 概要	1号機(566MW)・2号機(566MW)・ 3号機(890MW)
	1. 1U出力 MWにて(通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中) 2. 3号機第13回 定期検査中
発生状況 概要	設備トラブル ・ 人身事故 ・ 地震 ・ その他
	1. 発生日時： 1月 30日 16時32分 2. 場 所： 3号機 原子炉建屋1階 (管理区域内)..... 3. 状 況： 伊方3号機原子炉建屋において、消火設備設置工事用の配管材料を手に持って運搬していた作業員1名が作業用のホースにつまづき、配管材料と床の間に右手親指付近を挟んで負傷しました。 このため、1月30日16時32分、社有車にて病院に搬送することとしました。 なお、作業員の汚染、被ばくはありません。 <div style="text-align: right;">【第1報にてお知らせ済み】</div> その後、病院で診察した結果「右母指基節骨開放骨折」であり、数日入院が必要と診断されました。 <div style="text-align: right;">【第2報にてお知らせ済み】</div> 当該作業員は、本日退院し出社しました。
運転状況	1号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 2号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中 3号機：通常運転中・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・ 定検中
備考	

再現写真



作業用ホースに
足を引っかけた。



消火設備設置
工事用の配管材料

右手親指付近を
挟んで負傷